

教育目標(すすんで学び 思いやりのある たくましい子ども)

坂東太郎

伊勢崎市立坂東小学校 学校通信 令和3年2月16日(火)第20号 文責：校長 内藤

※「坂東太郎」は、坂東小ホームページ(校長室通信)でもカラー版でご覧になれます。

「教育アンバサダー」でキャリア教育② 1月28日

群馬テレビアナウンサー 北爪 健太さんの巻

「たくさん挑戦して、ミスをして、そこから学んでいこう！」

本市出身やゆかりのある方が「教育アンバサダー(伊勢崎市教育委員会委嘱)」として、学校で特別授業をしてくださる企画の2回目は、5年生を対象に行いました。

講師は、ここ何年か坂東小においでいただいている群馬テレビアナウンサーの北爪健太さんです。北爪さんは、宮郷第二小、宮郷中の出身で、旅行関係の仕事を経て現在群馬テレビアナウンサー4年目。毎日、取材で県内各地を飛び回ったり、テレビニュースでアナウンス原稿を読んだり、イベントの司会をしたり、スポーツ中継をしたり…若さとネットワークのよさで元気に活躍されています。そんな北爪さんから、小学生時代に考えていたことやニュース原稿の読み方、取材で気を付けていること、ミスから学ぶこと、コロナで変わったことなどについてお話をうかがいました。



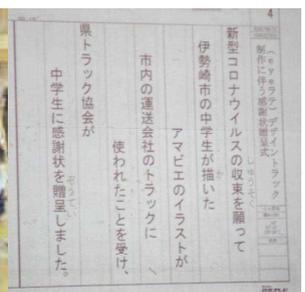
アナウンサーの原稿読みに挑戦



コロナで番組作りも変わりました



熱心に聞き入る5年生



↑実際の
アナウンス原稿

北爪さんがニュース取材で気を付けていること

- ① 情報に間違いはないか(事実・日付・名前など)
- ② ニュースのポイントはどこか=分かりやすさ
- ③ できるだけ生の音声を使う→インタビュー・リポートを効果的に
- ④ 取材先に感謝の気持ちを(よく話を聞く)
情報を伝えることは緊張感・責任感が常に伴う
正しい情報はどこにあるのか?いつも考える



子供たちの感想～お礼の手紙から

今日は、お忙しい中お話をさせていただき、ありがとうございました。アナウンサーの北爪健太さんがお話をしてくださると知って、どんなお話をしてくださるのかと、とても楽しみでした。アナウンサーの仕事について聞いたときは「アナウンサーの方＝ニュース」というイメージがあったので、他にもたくさんの仕事があると知り、とてもおどろきました。また、ふだんテレビでニュースを見ているときは、ニュースの内容に目がいきがちですが、原稿の読み方にまで工夫をしていると知り、アナウンサーはとても大変な仕事と分かりました。今回はお話をさせていただき、本当にありがとうございました。

(小此木 さん)

今日は、私達に講演をしてくださりありがとうございます。ニュースを聞き取りやすく放送していることは知っていましたが、音、スピード、声の高さなどの細かい調整までしているということは今回初めて知りました。そして、それらを使いこなしているのがとてもすごいことだと思いました。また、私は北爪健太さんのお話で「なんでもチャレンジする」「ミスから学ぶ」という言葉が心に残りました。そのおかげで「無理だと思ってもチャレンジしよう」「失敗してもふり返って再チャレンジしよう」と思いました。「好きをつきつめるとたくさんの可能性に出会える」という言葉の通り、好きなことをもっと深くやって、もっとつきつめようと思いました。本日はお忙しい中講演をしてくださり、本当にありがとうございました。(大澤 さん)

今回はいそがしい中、ありがとうございました。私は「やりたいと思ったら必ずやる」という言葉が心に残りました。私はこれからたくさんチャレンジしたいです。アナウンサーは、わたしたちに身近であり、なくてはならないものだと思います。きっと私なら緊張してできません。そんな仕事をしている北爪さんは、たくさん挑戦して、ミスして、そこから学んでいったんだと私は思います。テレビで見ている部分だけだと分からなかったインタビューや原稿作り、スタジオの緊張感が伝わってくる内容でした。ふだん聞けないことを聞く、貴重な時間をありがとうございました。お仕事頑張ってください。

(神倉 さん)

ランニングや長なわ跳びで冬場の体力づくり



| ながなわチャンピオン | | |
|------------|---------|------------|
| 1-1 16 | 2-1 63 | 3-1 65 |
| 1-2 21 | 2-2 48 | 3-2 39 |
| 1-3 25 | 2-3 12 | ひまわりいずみ 52 |
| 4-1 82 | 5-1 118 | 6-1 110 |
| 4-2 124 | 5-2 145 | 6-2 102 |
| 4-3 88 | 5-3 125 | 6-3 155 |

立春も過ぎ、朝夕はまだ寒いですが、日中は暖かい日も増えてきました。学校では、子供たちの運動不足解消や冬場の体力づくりの取組として、ランニングや長なわ跳びをしています。

体育委員会が中心となって、20分休みに「ふやし鬼」をしながら走ったり、担任の先生と一緒にクラス

で長なわ跳びを楽しんだりする子供たちの姿が見られます。

風の強い日も多いですが、それをものともせず元気な体を動かしている子供たちを見ていると「さすが群馬の子!」と思います。